

山添拓

弁護士
30歳

やまぞえ たく

安倍暴走ストップ
新しい政治を拓く

山添拓さんを
紹介します

山添拓さんとコンビで、東京でがんばります

憲法を自らの生き方に貫いてきた山添拓さんとともに、平和・民主主義が花開く、暮らしに寄り添う政治の実現へ全力をつくします。東京から国民の声を再び参議院へ届けるために、ご支援をよろしくお願いします。

日本共産党参議院議員(比例代表選出) 田村智子

参議院選挙・制度解説

2回目 政党名で
1回目 候補者名で
選挙区の投票は
比例代表の投票は

こんにちは、山添拓です。

国政に挑戦する ——私の3つの決意

■ 憲法9条を守り、活かします

大学に入学した年にイラク戦争が始まりました。21世紀になってもまだ戦争とは…強い怒りを覚えました。戦争をなくす高い理想を掲げた憲法9条こそ必要だと感じました。

いま安倍政権は、世論を無視して憲法9条をこわそうとしています。憲法が危ない。民主主義や立憲主義を無視する安倍政権の暴走は、弁護士としても許せない。私は国政への挑戦を決意しました。

■ 命と暮らしを守り、被災者の故郷と生業をとりもどします

弁護士になる直前に起きた東日本大震災と原発事故。私は福島原発事故被害弁護団に加わり、福島に通い続けました。避難を余儀なくされた人。また土地や空気を汚染され、故郷を壊された人の悲しみを私は忘れません。みなさんと一緒に、命と暮らし第一の政治に変え、「原発ゼロ」の日本をつくりまします。

■ はたらく人の権利を守ります

過労死された方の無念をはらし遺族を守る裁判にも取り組みました。はたらく人に次々とおそいかかる雇用破壊や社会保障の切り下げは許せません。政治を変え、ブラック企業や過労死を根絶しましょう。

日本共産党

山添 拓
やまぞえ たく

プロフィール: 1984年京都市生まれ。2007年東大法学部卒。2010年早稲田大学大学院法務研究科修了。2011年弁護士となり東京法律事務所所属。原発事故被害賠償や過労死事件などの弁護団で活動。現在、山添拓法律事務所。家族は妻。趣味は山登り、鉄道写真撮影。

ともに 若い力で
ブラック企業の根絶を



参議院議員(東京選挙区)
吉良よし子

過労死問題などで大活躍の山添さん。私と同世代の頼りになる弁護士です。ぜひとも一緒に国会で、憲法を守り活かす仕事を!

山添拓さんを推薦します!!



弁護士 宇都宮健児

原発再稼働・社会保障や労働法制の改悪・戦争法案など憲法破壊の安倍政権の暴走を止めるためにも、人権感覚豊かな若手弁護士、山添拓さんを応援します。



生まれは京都

1984年11月、京都府向日(むこう)市で生まれた山添さん。その後京都市内に引っ越し、小学生時代は一輪車を毎日乗り回していました。中学では陸上部で円盤投げなどに汗を流しました。

「探究」にハマった高校時代

2000年、京都市立堀川高校の人間探究科に入学。そこで個性豊かな仲間に恵まれました。授業を通じて徹底的に自分の頭で考え、みんなと討論する体験を積んだ山添さん。自身が探究し発表したのは「京ことばの研究」でした。

東大に進学。こんな弁護士になりたい ——ハンセン病患者のたたかいに接して

東京大学に入学し、1、2年生の時には学生自治会委員長もつとめ学費値上げ反対のとりくみなどに力を尽くしました。法学部に進んだ大学3年のとき、差別で人権を侵害されたとして国を訴えたハンセン病患者の話を聞きに療養所を訪れた山添さん。患者さんから「自分と一緒に風呂に入って背中を流してくれた弁護士がいた。それで裁判の決意が固まった」という話を聞き、自身もそういう弁護士になりたいと思いました。

政治は変えられると実感

2010年に司法試験に合格し「修習生」となりました。修習生とは、いわば見習いで1年間研修に専念しないと、実際に弁護士や検事、裁判官にはなれません。その期間は国から給与が出ていましたが、その制度がなくなるという改悪に直面。これではお金のない人は弁護士などにはなれない…。山添さんは「ビギナーズネット」というグループをつくり国会議員への要請や宣伝にとりくみました。制度の廃止は1年延期になりました。

夫を語る(大田 朝子)

仕事でも活動でも、献身的な努力をおしまない拓さん。彼の好きな食べ物は、駅そばと豆腐とアイスクリームです。



趣味は山登りと「撮り鉄」



鉄道写真は年間5千枚を超える鉄道マニアです。

只見線(福島県)を走るSL▶



▲北海道・雌阿寒岳中腹にて



◀北アルプスの槍ヶ岳山頂にて

◀東海道線

誰にも対等・平等。常に現場で勝負

同期の弁護士 青龍美和子さん

山添さんは私から見ると、とても優秀なのに、全然偉そうにはしていません。「上から目線」とはまったく無縁で誰にでも対等、平等に接する人です。
また常に現場に向き合っています。東日本大震災の時には、何度も救援にかけつけ、復興のために法律家として何ができるか考え、行動してきました。そうしたことで仲間の弁護士や依頼者から厚い信頼を得ています。

若者の権利・未来守れる人

大学の後輩 岩崎明日香さん

お金がなくても学びつづけられる大学・社会を——山添さんと一緒にやった運動が、世界一高い日本の学費値上げストップと東大での免除制度の拡充に実りました。在学中に父を亡くした私が卒業まで学びつづけられたのは、その制度と山添さんのあたたかい励ましのおかげです。

とにかく若い!が、とても頼もしい

過労死で夫を亡くした妻 小林明美さん

夫を亡くし約2年過ぎて、ご縁があり山添先生に担当になっていただきました。初めてお会いした時の印象はとにかく若い!でした。しかし、裁判でもはっきりと相手側にもものを言い、傍聴に来た多くの方にもわかりやすくていねいに説明してくれるとても頼もしい先生です。

9条守る学生の運動のリーダー

大学の後輩 梶原渉さん

改憲に立ち向かおうと、東京の学生で立ち上げた「ピースナイト9」。集まった学生からは、それぞれ様々な意見が出されましたが、各学園に運動を広げる集会にしようと揺るぎない立場でリードしたのが山添さんでした。私にはその姿は正しい方向を示す「北斗七星」のように見えました。

「ピースナイト9」集会のポスター▶



友人、知人が証言しました

やまぞえ たく
山添 拓さんは

弁護士・30歳
参議院(東京選挙区)予定候補

こんな人

原発被害者の苦悩に寄り添う

いわき市民訴訟原告団長 伊東達也さん

山添弁護士は、原発事故被害「避難者訴訟」と「いわき市民訴訟」の弁護団の一員として、国と東電の責任問題を厳しく追及してきました。法廷では国と東電の答弁に鋭くメスを入れ、私達原告団にはわかりやすくユーモアをまじえて激励し続けてきました。



▲福島・双葉町で現地調査する山添さん

誰かがやるべきことなら

率先してやる 山添拓の信条と日本共産党

多忙な弁護士活動の合間をぬい「憲法の大切さを伝えよう」と地域や労働組合、大学のゼミなどで講師活動を行う——こうした山添さんの行動を支えているのは「平和のため、社会のため誰かがやるべきことなら、自分が率先して行う」という信条です。子どもの時にテレビで見た湾岸戦争に衝撃を受け、世界から戦争をなくしたいと高校時代には国連職員に憧れた山添さん。大学で「憲法9条を活かし戦争をなくそう、社会に役立つ生き方をしよう」と呼びかける日本共産党の仲間に出会い「これこそ私の生き方だ」と入党しました。

日本共産党